

# 豊かな社会づくりのために イオンができること

2018年11月6日

公益財団法人イオン環境財団 山本 百合子

1

## イオンの概要

2

## 持続可能な消費と調達に向けて

- ① 「商品」を中心とした取組み
- ② 「お客さま」と共に行う取組み

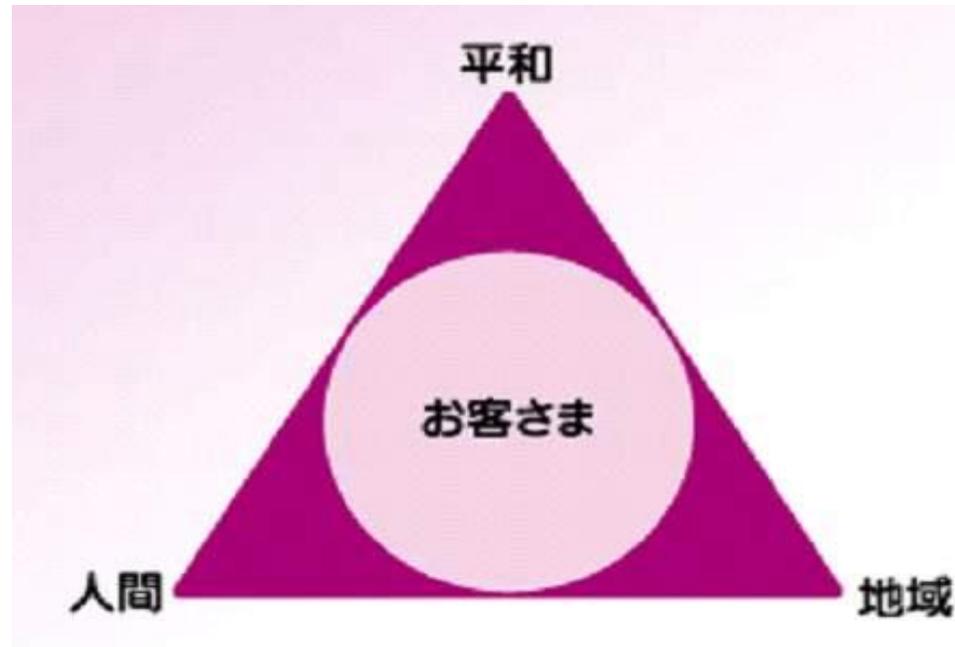
3

## 持続可能な社会づくり —地域との連携・循環型社会の実現—

## イオンの概要

# イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



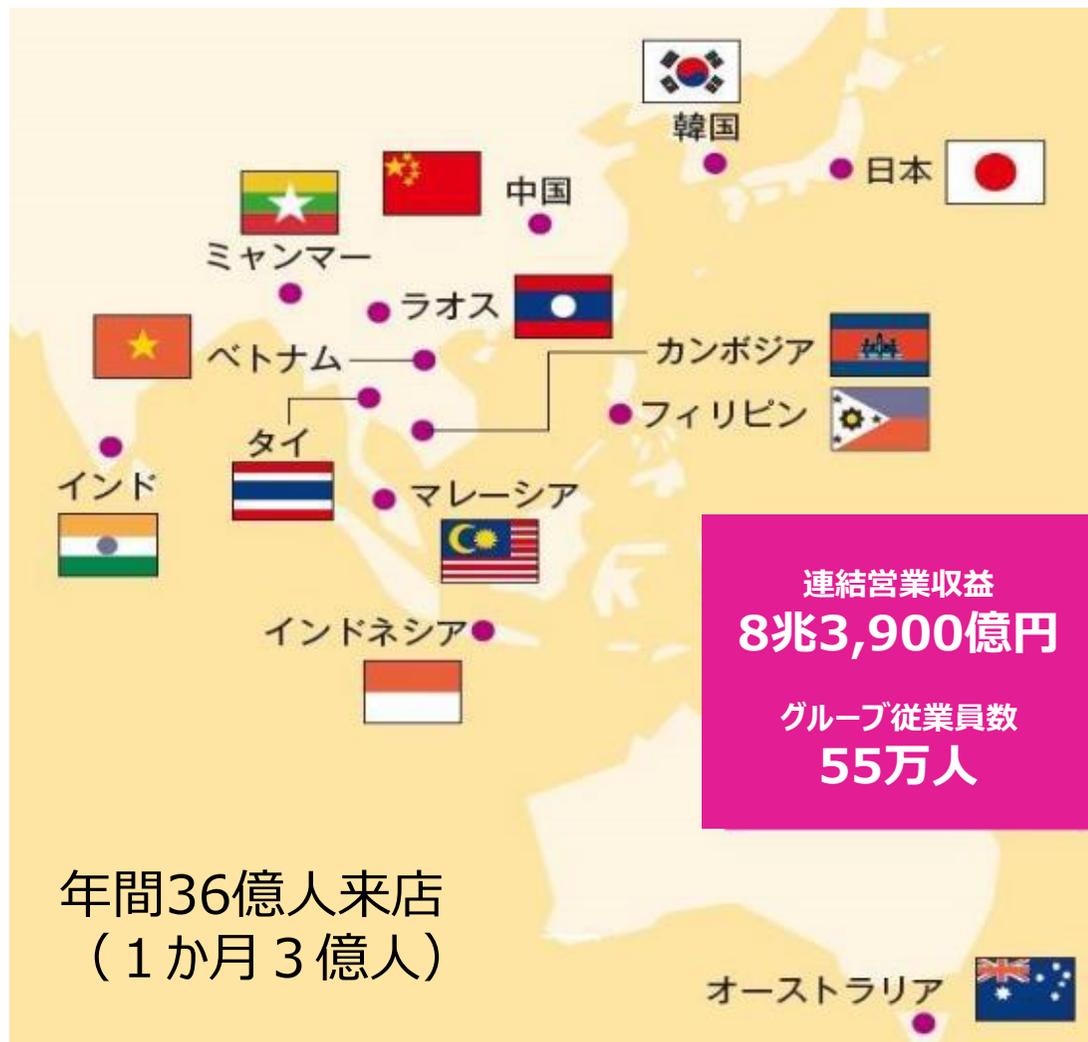
「平和」:イオンは、**事業の繁栄**を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

「人間」:イオンは、**人間を尊重**し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

「地域」:イオンは地域の暮らしに根ざし、**地域社会に貢献**し続ける企業集団です。

# イオンの概要

日本・中国・アセアン13か国で21,742店舗を展開



# イオンの事業内容

グループ企業 330社  
お客さまの豊かで便利なくらしへの貢献を目指す



GMS  
(総合スーパー)事業



SM(スーパーマーケット)・  
DS(ディスカウントストア)事業



小型店事業



ドラッグ・ファーマシー  
事業



総合金融事業



ディベロッパー事業



サービス・専門店事業



国際事業

# イオン サステナビリティ基本方針

## イオンサステナビリティ基本方針

イオン基本理念のもと

**「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立**を目指す  
**「環境」「社会」の両側面**

グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を  
多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進

### 環境面の重点課題

- ・低炭素社会の実現
- ・生物多様性の保全
- ・資源循環の促進

### 社会面の重点課題

- ・多様な消費者課題への対応
- ・公正な事業活動の実践
- ・人権と多様性を重視した職場づくり
- ・コミュニティとの協働



**持続可能な調達と消費に向けて**

- ①商品を中心とした取組み
- ②お客さまを中心とした取組み

# ①「商品」を中心とした取組み

## イオン持続可能な調達原則（2014年2月策定）

### イオン持続可能な調達方針・2020年目標

農産物

畜産物

水産物

紙・パルプ・  
木材

パーム油

グローバル基準に基づき、  
持続可能性に配慮して生産された商品の調達を推進。

# 持続可能な調達2020年目標

対象	持続可能な調達2020年目標
農産物	<ul style="list-style-type: none"><li>・プライベートブランドは、GFSIベースの適正規範（GAP）管理を100%実施を目指す。</li><li>・オーガニック商品の売上構成比5%を目指す。</li></ul>
畜産物	<ul style="list-style-type: none"><li>・プライベートブランドは、GFSIベースの食品安全マネジメントシステム（FSMS）または適正農業規範（GAP）により管理100%実施を目指す。</li></ul>
水産物	<ul style="list-style-type: none"><li>・連結対象のGMS、SM企業で、MSC、ASCの流通・加工認証（CoC）を100%取得を目指す。</li><li>・主要な全魚種で、持続可能な裏付けのあるプライベートブランドを提供する。</li></ul>
紙・パルプ ・木材	<ul style="list-style-type: none"><li>・主要なカテゴリーのプライベートブランドについて、持続可能な認証（FSC認証等）原料の100%利用を目指す。</li></ul>
パーム油	<ul style="list-style-type: none"><li>・プライベートブランドは、持続可能な認証（RSPO等）原料の100%利用を目指す。</li></ul>

# 持続可能な調達の取り組み（農産物）



オーガニックコーナーの設置

オーガニックスーパーの展開

# 持続可能な調達取り組み



オーガニック コットンを  
衣料品へ展開



# 持続可能な調達の取り組み（水産物）



1  
資源の  
持続可能性



2  
漁業が  
生態系に  
与える影響

3  
漁業の  
管理システム

(出典)MSCジャパン

責任ある養殖により  
生産された水産物

asc

認証  
ASC-AQUA.ORG



## 宮城県漁業協同組合 志津川支所

牡蠣認証取得：2016年

- ・ 牡蠣の養殖密度を3分の1以下に削減
- ・ 自然環境に負荷を与えない災害に強い養殖場を目指し  
養殖サイクルや生産コストの見直し



# 持続可能な調達の取り組み（水産物）

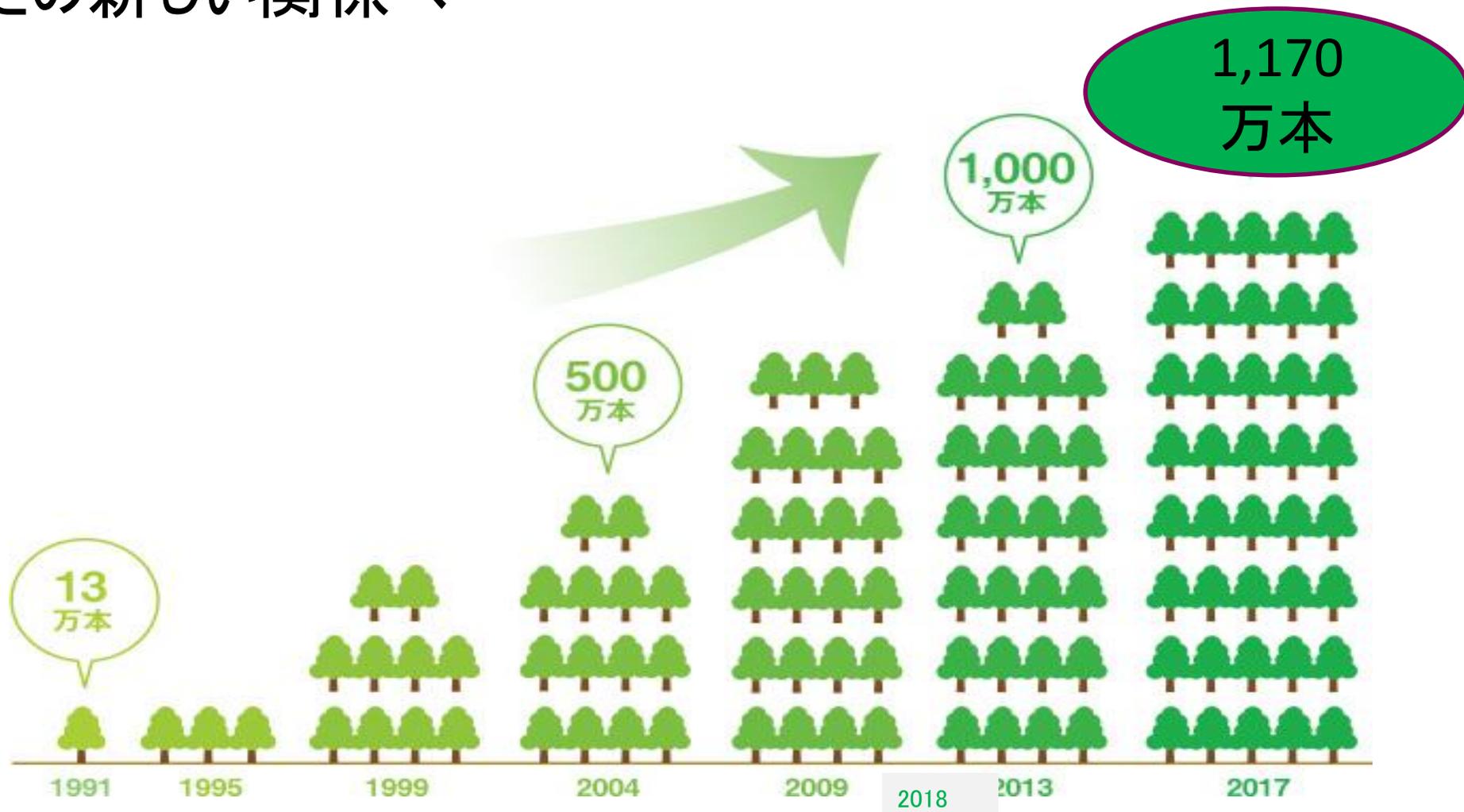
買い物を通じて未来を変える

イオンはMSC認証、ASC認証のお魚を販売することで、お客さまと共に、買い物を通じて、地域の発展と活性化に貢献



# 持続可能な調達取り組み（紙・パルプ・木材）

## 森との新しい関係へ



# 持続可能な調達の取り組み（紙・パルプ・木材）



イオン

森の循環プログラム

「植える」「育てる」「活かす」

森を「活かす」活動を強化

適切に管理された森から  
生産された木材を、商品原  
料や店舗の資材に活用

# 持続可能な調達取り組み（紙・パルプ・木材）

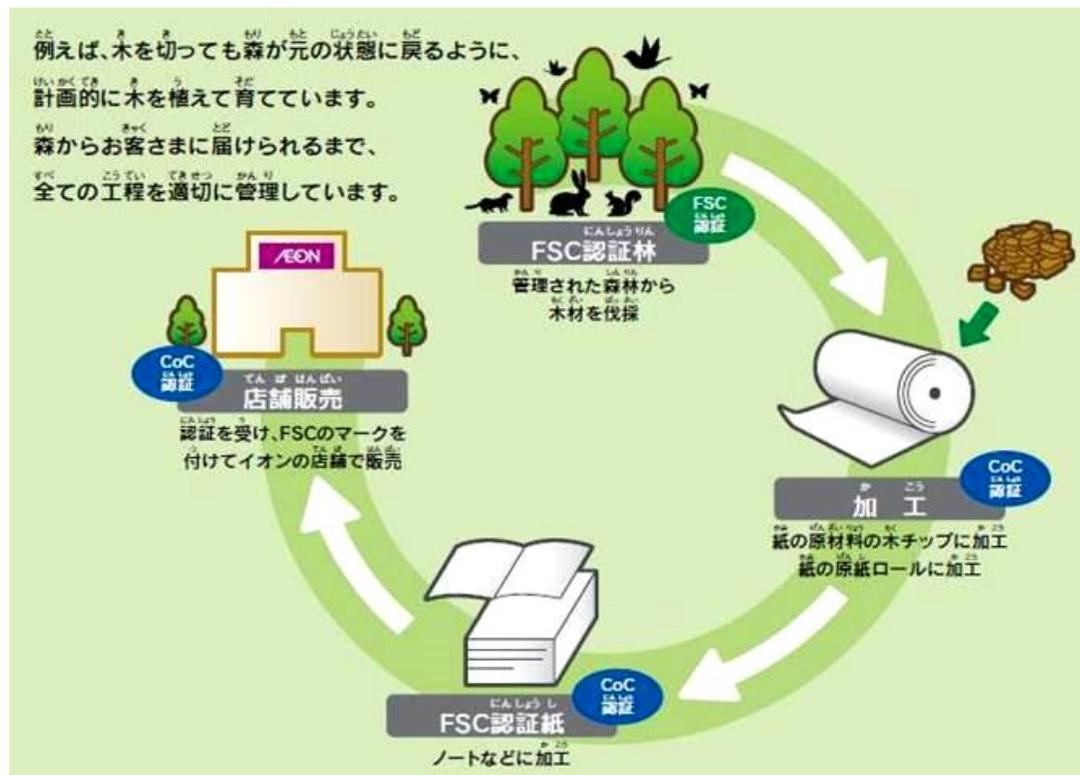


## FSC®（森林管理協議会）認証商品

- ①環境保全に配慮され、持続可能な管理がなされた森林から生産した認証であるFSC（森林管理協議会）認証の取り扱いを推進します。
- ②トップバリュではFSC認証材を原料としたノートなどの紙製品の製造・販売をおこなっています。



FSC 認証紙を使用したノート



# 持続可能な調達取り組み（紙・パルプ・木材）

## 持続可能な認証商品の扱い

- ・ P Bでは、紙を主要原料として使うカテゴリーで、F S C 認証原料 1 0 0 % 使用をめざして取り組み



## ②「お客さま」と共に行う取組み

### 買い物袋持参運動によるレジ袋使用量の削減

お客さまにマイバスケットやマイバックなどを持参いただく「買い物袋持参運動」1991年に開始

**イオンの買い物袋辞退率 64.8%**

2017年度

ご希望のお客さまには有料でレジ袋を提供し  
その収益金を自治体などを通して  
地域の環境保全活動に役立てる



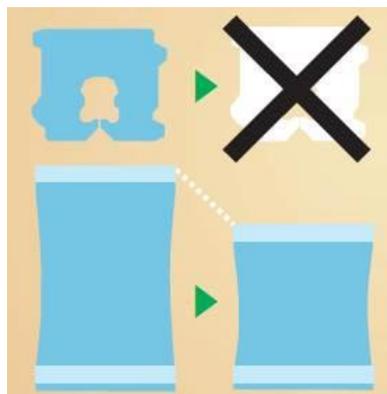
マイバスケット



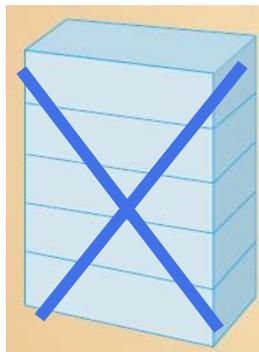
# 商品での取り組み

## 包装資材の削減

石油資源の節約やごみになるものを減らすために



留め具をなくし、  
袋を短くすることで、  
包装資材の重量を一般  
品の半分に削減



外箱を省いている

# FSC®認証商材を使用した木造店舗



- ①2009年12月 コンビニエンスストアで国内初の「FSC認証」店舗を出店。
- ②使用木材は100%国産のFSC認証材。施工プロセスも含めた建物全体でFSC認証を取得しています。
- ③鉄骨を使った従来工法と比べてCO2を30%以上削減可能。

## ミニストップのFSC認証材を使用した木造店舗

工事中の店舗



ミニストップ店舗



※2017年2月末現在206店舗がFSC認証材使用店舗

# 環境をテーマに考え、学ぶ

## 次代を担う世代の環境教育 アジア学生交流環境フォーラム



アジアの大学生が対象  
自然環境や価値観の違いを  
学びながら地球環境を討議

日本・韓国・中国・ベトナム  
カンボジア・マレーシア  
インドネシア・タイ・  
ミャンマー

# 3

3

**持続可能な社会づくり**

**—地域との連携・循環型社会の実現—**

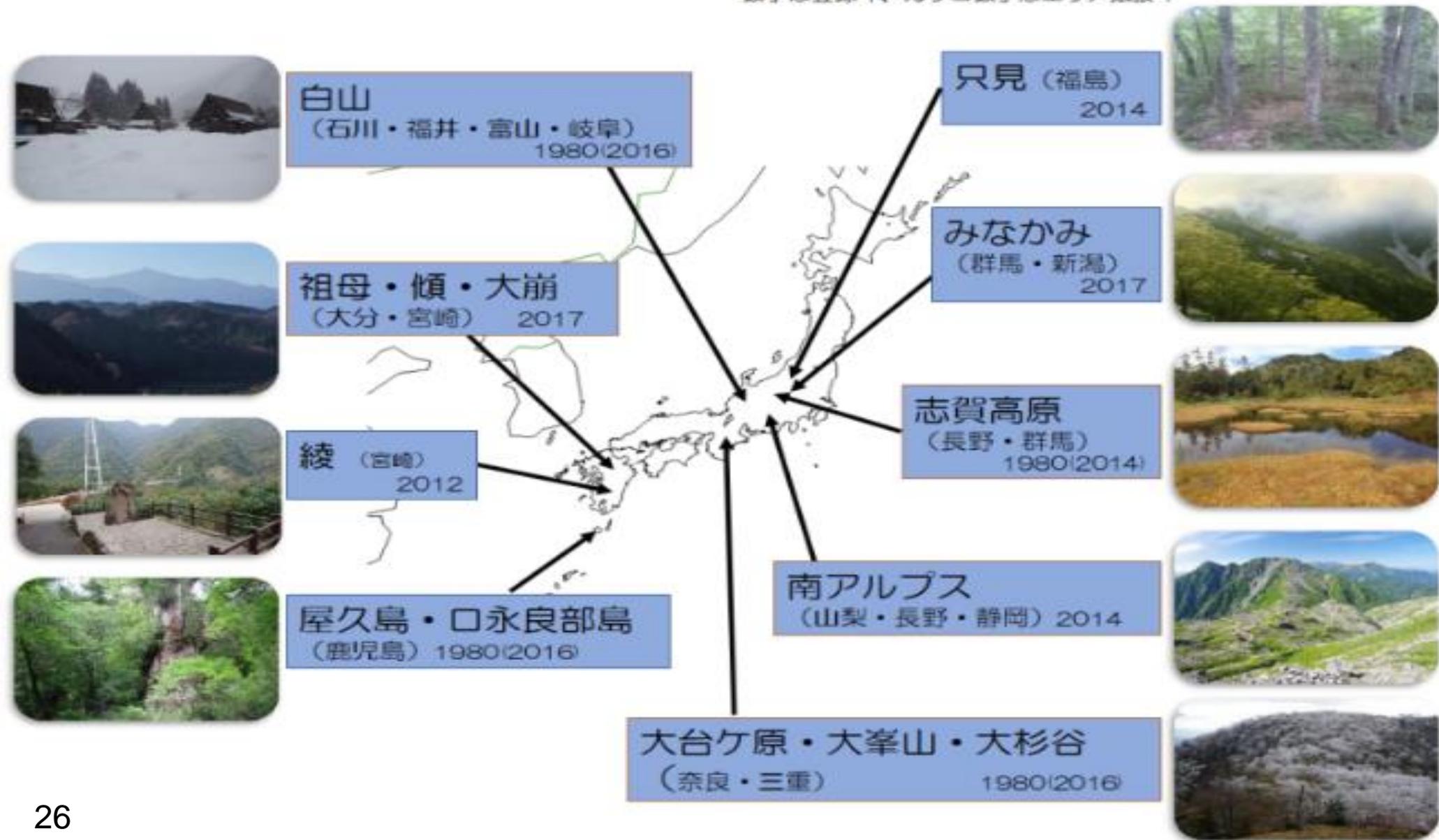
ユネスコエコパークの理念

## 「生態系の保護・保全のみならず自然と人間社会の共生に重点を置く」



# 日本のユネスコエコパーク

数字は登録年、カッコ数字はエリア拡張年



# 連鎖する生態系の包括的環境活動



関東地方の水源  
みなかみ奥利根の森

豊かな海のもと、豊かな森から

屋久島



## 地域との連携

- 平成30年北海道胆振東部地震  
北海道厚真町 9月16日撮影



# つなげよう、 ふるさととのチカラ。

安心してらせる一日一日の積み重ねが笑顔あふれる未来につながる。  
イオンはそう考えています。日々のお買物をはじめ、地域の暮らしの  
あらゆるシーンによりそうことで、地域の皆さまの支えになっていきたい。  
東北地方での「にぎわい東北」をはじめ、生産者支援や雇用創出による  
地域産業の活性化、自然豊かで災害に強いまちづくりの実現に向けて。  
イオンはこれからもグループ一体となって、地域の皆さまと  
手をたずさえながら歩んでまいります。

## 東北の創生に向けた4つの方針

1. 事業を通じた地域産業の活性化
2. 雇用の創出と働きやすい環境づくり
3. 地域の未来を“ともにつくる”環境・社会貢献活動
4. 安全・安心にらせるまちづくり



これからもイオンは、包括的に生態系と環境の保全に取り組んで参ります。